





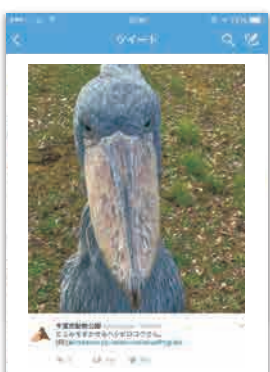
ライオン校

京葉学院がライオン施設の名前をつけました。
私たちは、千葉市動物公園を応援しています。

住所: 千葉市中央区新千葉2-8-7 TEL: 043-244-1010

ツイッターのお知らせ

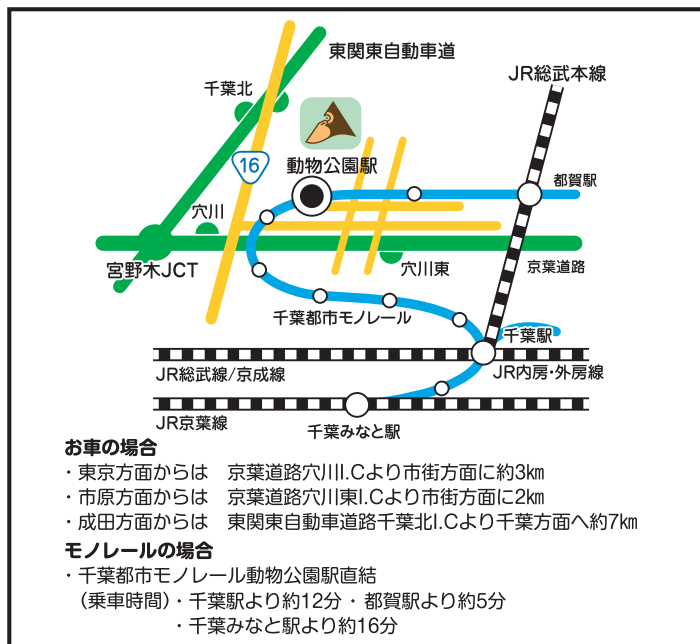
飼育係の撮影した写真やリアルタイムな園内の情報などなど千葉市動物公園公式Twitterアカウント @ChibaZoo
フォロワー数現在55,014(2月28日現在)




アクセス

- 開園時間 午前9時30分～午後4時30分まで
(最終入園: 午後4時まで)
 - 休園日 毎週水曜日
(水曜日が休日の場合は翌日)
 - 入園料 ◆大人(高校生以上) …700円
◆中学生以下…無料
- お得な年間パスポート**
◆大人…2,500円

団体割引: 有料人数30名以上で2割引
- 駐車場 ◆普通車700円 ◆大型車2,800円
(閉門時間: 午後5時)



2016年4月から入園料と休園日が変わりました

●<http://www.city.chiba.jp/zoo/>



スマホをかざしてびっくり

下記アプリをダウンロードして表紙をスキャンすると「オリジナルフォトフレーム」がダウンロードできます






動物公園サポーターの募集

千葉市動物公園を応援していただける個人、法人サポーターを募集しています。
 寄附金は個人1口1,000円、法人1口10,000円で何口でも寄附いただけます。
 寄附していただいたお金は動物たちのエサ代や園内サービスの充実に使われます。

問い合わせ先 電話043-252-7566

どうぶつこうえんニュース第101号 平成29年3月15日発行
 編集・発行 千葉市動物公園 ちばZOO編集委員会
 〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 Tel 043-252-1111(代) Fax 043-255-7116

●動物取扱業名称/千葉市動物公園 園長 石田 聡 ●所在地/千葉市若葉区源町280 ●種別/展示・貸出・保管・販売
 ●登録番号/展示 第50015号・貸出 第30016号・保管 第20200号・販売 第10205号
 ●登録年月日/展示 H24.7.30 貸出・保管・販売 H28.11.7 ●有効期間の末日/展示 H29.7.29 貸出・保管・販売 H33.11.6 ●動物取扱責任者/高木 淳子

- 特典**
- 1 当園オリジナルグッズ
 - 2 サポーターズデーへのご招待
 - 3 動物公園に関する情報のご提供



ちばZOO

どうぶつこうえん

ニュース

オニオオハシ

No. 101

2017 Spring



目次

contents

- ・Director's Eye 1
- ・レクチャールームを改修しました
- ・アビシニアコロブス 2
- ・レッサースローリス
- ・変な鳥 どこか変? なんか変! 3 4
- ・アカハナグマ 5
- ・森由民の「おすすめ千葉ZOO」
- ・園内の植物のお知らせ 6
- ・ふれあい動物の里より

Director's Eye

野生動物の保護と動物園



もう20年も前から、動物園として野生動物の保護にもっと直接的にかかわれないのだろうかと思い悩んできた。野生動物といっても地球上には1000万種もいるといわれており、その全てに直接関われるはずがないから、代表的な種に限られる。であるならば、その種を守ることによってできるだけ多くの動物の保全に関連する種がいい。世界でも最も多くの種が生息しているのは熱帯雨林である。熱帯雨林は赤道ベルトを中心に東西に帯状に広がっている。その中で、日本と比較的近く、親和性も高いのがボルネオ島であっ



て、ここに目を付けることにした。オランウータンの生息地であることもピッタリである。

ボルネオのオランウータンの生息地は、今アブラヤシという植物油の原料となる植物のプランテーションによって森林が縮小している。アブラヤシからヤシ油をとって、その油は植物油の中心としてあらゆる食品、洗剤、化粧品などに使われている。私たちの生活必需品の原料でもある。だから単純にヤシ油を使わないという論理にはならない。少なくとも体に優しい植物油を使うのが良いのであれば、ヤシ油とは適切な関係を取り結ばないと私たちの生活も成り立たない。さあどうするか。個人的には熱帯雨林での動物の調査をしてそれを保護活動に役立てないかなどと少し甘い考えをもっていたが、どうもそれでは十分ではないようだ。こうした矛盾関係に食い込んでいかないと方向が見えてこない。こうした活動を行い問題に取り組んでいる団体がボルネオ保全トラストで、活動に参加している間に、その理事長をやってくれと頼まれてしまった。これから2~3回にわたってその活動と考え方を紹介していくことにしよう。

千葉市動物公園 園長 石田 戡(おさむ)

レクチャールームを改修しました



動物科学館では、週末や祝日に、子どもたちを対象にした工作やぬり絵のワークショップを開催しています。これまで1階のエントランス付近にコーナーを設けていましたが、参加者の多い時には周辺が混雑し、環境改善が急務となっていました。

そこで当園は、親子一緒にゆったりと楽しむことができるよ



う、館内にあるレクチャールームを一部改修しました。具体的には、室内前半分のいす席を撤去し、床をカーペット仕上げて

替え、LED照明を取り付けたことで、ワークショップにふさわしい場所に仕上げました。

一方、ステージの奥行きを広げることでより講演会や発表会での使い勝手も向上させたほか、車いす利用者のためスロープも新設しています。

改修後、最初のイベントとなった新春かるた大会(右写真)。みんな夢中で、子どもに混じって大人も真剣な表情。かるたをゲットできた時の笑顔が見られて、思わずこちらニンマリ。



2月には石田園長や数内正幸美術館長の数内竜太による講演会のほか、市立千葉高校や東京コミュニケーションアート専門



学校の生徒による研究発表会なども開催し、活用の幅が広がっています。

今後は幼児からお年寄りまで、誰もが参加できるプログラムを開発し、遊びながら動物のことを学ぶ場として活用していきます。当園にお越しの際は、レクチャールームでの催し物についても、チェックしてみてください。

副園長補佐 蚊谷 友浩

赤ちゃんが生まれました アビシニアコロブス

年も押しせまり、さる年最後の12月31日、アビシニアコロブスの赤ちゃんが生まれました。お母さんの名前はシャボン。2009年の4月に鹿児島島の平川動物公園で生まれ、2011年に千葉に来ました。お父さんの名前はドン



ト。2004年、仙台八木山動物公園生まれで2006年に来園しています。2頭の間には2015年7月に最初の子ども、サン(メス)が生まれています。最初の子どもが生まれた時は、シャボンは子どもの扱いがわからず、抱き方もごちなく、我々スタッフを心配させましたが、そのうちしっかりと赤ちゃんを抱くようになり、過保護とも思われるくらい愛情を注ぎ、サンを育て上げました。さて今回生まれた赤ちゃんですが、さすがに2回目となると堂々とした育てっぷりで、少し余裕すら感じられます。2週間くらいたつと、時々子どもを放して地面に置くようになり、3週間目には上の娘のサンに預ける様子も見られるようになったのです。もともとアビシニアコロブスの仲間は



子どもを他のメス(姉妹や娘など)に預ける習性があり、驚くことではないのですが、サンはまだ小さいので、預けられてもどうしていいかわからず、抱くとい

うよりはただ赤ちゃんにしがみつかれているといった感じです。しっかり育てられる上の子と放任される下の子。ちょっと人間にもありがちで面白いですね。でもご安心を。お母さんはちゃんと愛情をかけてどちらも育てていますよ。アビシニアコロブスは親は白黒ですが、生まれた時は真っ白な色をしています。この記事が出るころはちょうど中間あたりか、もうほぼ親と同じ色になっているかもしれませんね。現時点でまだ赤ちゃんの性別は分からないのですが、きょうだいで仲良く遊ぶほほえましい様子を見るのが今から楽しみです。

伊藤 泰志



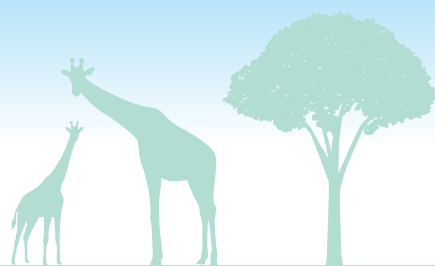
ミステリアスな夜の忍者 レッサースローロリス

夜行性動物展示ゾーンにレッサースローロリスのペアが新着しました。オスは埼玉こども動物自然公園から、メスはアクアマリン福島からやって来ました。



ロリスという名前は、道化役者(ピエロ)を意味する古いオランダ語の“loreis”にちなみます。1770年に、オランダ人の探検家により発見された時に、そのゆっくりとした動きが、南米のナマケモノに関連付けられ、“スローロリス”というありがたい名前を頂戴してしまったのです。無理ありません。彼らは夜行性で、燦々とした光の下では、動かないことが身を守る術なのです。このスローロリスという名前のイメージが、彼らの生態の誤解を生んできたのです。夜のスローロリスは、ちっとものろまな動物ではありません。むしろ素早い忍者のようなサルなのです。彼らは、一晩に5kmも移動し、その遊動域も、テナガザルのような大型のサルに匹敵することが明らかにされています。彼らのエサは、これまで果物や昆虫が中心と考えられてきましたが、実は、樹液が固まった樹脂と呼ばれる植物滲出物が、かなりの部分を占めることがわかってきました。マーモセット類のように樹皮を彫り込み、樹液を滲み出させ、それを収穫するのです。また、彼らは、哺乳類では珍しい、毒を持っている動物で、二の腕の辺りにある上腕腺から分泌される液を口に含むと、唾液と結合し、毒性を持ちます。これを自分の被毛に塗り付けたり、敵を咬んだりするのです。スローロリスの生態は、まだ謎だらけです。このミステリアスな動物とスローな時間を過ごすのも動物園観覧の一風変わった醍醐味と言えるでしょう。

松本 和人





変な鳥!

どこか変? なんか変!



当園では、63種の鳥を見ることができます。今回はその中でも変わった鳥を紹介します。

動物科学館 バードホール

1. カンムリバト 平べったくて変!



分布
ニューギニア西部

頭部にみごとな冠があります。みなさんは普段、この鳥を横から見るが多いと思います。その時、とてもしつぽは冠羽に注目されるでしょう。ただ、視点を換え、正面や上から見ると、平らでとても薄いんです。

カンムリツルと比べるとその差は歴然。普通動物は人との距離を保つものですが、この鳥は人好きの性格で、よくお客さん側のガラス沿いにいますので、ぜひのぞいてみてはいかがでしょうか。



カンムリバト カンムリツル

草原ゾーン

5. フラミンゴ くちばしの形が変!



分布
南アメリカ

誰もが知っているくちばしが曲がっている鳥。この曲がったくちばしは、長い首と脚で水面の餌をどうやって食べようかと考えた時、とてもいい形になっていることに納得。ただ、変なのは形だけでなく、その構造も。くちばしと舌にラメラと呼ばれるくし状の突起があり、餌と水を分けるフィルター的作用をしています。



6. ヒゲゴシキドリ 鳥なのにひげがあるなんて変!

動物園なのに、見るのが難しい鳥ではありますが、見つけた時には、カメラや双眼鏡を使い、できるだけアップでの観察をお勧めします。

くちばしの付け根に注目すると、ひげが生えていることに気づくでしょう。この羽は、剛毛羽といいます。普通の羽とは異なり、高度に特殊化した小さい正羽で、最も外側の羽枝がなく、特に固い羽軸を持っています。多くの昆虫食の鳥に見られ、動く餌から目を保護するといわれています。また、剛毛羽は、触覚の機能も持っています。

動物科学館 バードホール



分布
西アフリカ、サハラ砂漠南部

動物科学館 バードホール

7. オニオオハシ くちばしの大きさが変!



分布
南アフリカ南東部から中部

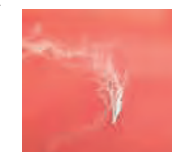
全長の1/3ほどを占める大きなくちばし。見た目バランスが悪そうに見えますが、くちばしの内部は、まるでスポンジのように空洞になっていて軽いのです。このくちばし、餌を食べるだけでなく体の熱を放散する役割をしているといわれています。使い勝手が悪そうなくちばしですが、小さい餌でもとても器用につまめます。

ただ、食べる方法は、やはり大きすぎるせいか、つまんだ餌を上から放り投げて、口の中に落として食べます。これも、器用といえば器用、一見の価値あり。開園中に餌の時間がありますので、お見逃しなく。

8. アフリカハゲコウ 気づくと変!

動物の死体に頭を突っ込み、肉などを食べるため羽がないはず。しかし、よく見ると毛のようなものが、頭や首にちよろちよろ。この毛のようなもの、あることは知っていたがよく見たことがない。飼育係の特権でちょっと分けてもらい、よくよく観察すると、とても変。わかりやすく説明すると、白い綿羽に同じ根元(羽軸)から黒い糸のようなものが数本。今まで色々な鳥の羽を見てきましたが、こんな羽は初めて、どうしてこんな羽になったのか? 何の役に立つのか? 答えは見つからず。

みなさんも、動物の一部に視線を向けると、新しい発見があるかも。



頭の羽のアップ

草原ゾーン



分布
サハラ砂漠以南のアフリカ

2. ハシビロコウ 全てが変!・態度も変!

動物公園で一番インパクトのある鳥。見た目も変わっていますが、雌の「しすか」は、人に対する態度に差があります。好きな人にはクラタリング(くちばしをカタカタ鳴らす)、嫌いな人にはくちばしを大きく開け威嚇。

あなたはどちらに分類される? 全くの無関心ということもあります。かくいう著者はというと、どちらもやられる中途半端、好きなのか嫌いなのか。ただ、無関心ではられない存在のようです。

鳥類水系ゾーン



分布
アフリカ中部

鳥類水系ゾーン

3. ヒロハシサギ 目が大きくて変!



分布
中央・南アメリカ

体や頭の大きさに比べくちばしは大きいことはすぐにわかります。しかしじっくり見ると目が異常に大きい。これは、他の夜行性動物と同じで、少ない光でも見えるように大きくなっています。

ということは、この鳥は、鳥では珍しい夜行性ということ。「鳥目」という言葉があるせいか、鳥は夜に目が見えないと思われていますが、実は多くの鳥は夜も行動できます。しかし、夜専門の鳥というとそれなりの工夫があるものです。

4. ヒオドシジュケイ 角があるなんて変!

意外に存在感を示している鳥。雄は色がきれいなだけでなく、頭に鮮やかなブルーの角を隠し持っています。繁殖シーズンは、飼育係が掃除に入っただけでむくむくと角を立ててきます。この角が出てくると要注意。よそ見をしているといきなり蹴りが飛んできます。繁殖シーズンは、この角と頸に隠している肉垂を広げ、雌へアピールしています。肉垂もとても鮮やかな色をしています。

めったに立ち止まらないキジ舎でも、この鳥の角が出ている時は、しばらく足を止めてみてください。広げた肉垂がみられるかも。

鳥類水系ゾーン



分布
ビマラヤ、チベット

展示はじめました アカハナグマ

2016年11月18日より新しいアカハナグマ2頭を展示しています。

長崎県西海市にある長崎バイオパークという動物園からブリーディングローン(繁殖のための貸与)でやってきました。オスの名はヒカリで2015年8月22日生まれで、体重は約5kg、とても人に慣れていて、人の手からエサをとります。メスの名はミミで2015年9月2日生まれで、体重は約4kg、尾の先が欠けていてオスの3分の2の長さです。2ヶ月間は放飼場(展示場)でも、部屋でも一緒にくらしていましたが、今は部屋だけ1頭ずつにしています。交尾を確認するためです。2017年1月24日にオスがメスを追い、



交尾と思われる行動が確認されました。うまくいけば妊娠期間が44～77日なので、4月上旬にうまれる予定です。

アカハナグマは分類上はネコ、イヌなどと同じ食肉目(類)で、そのなかでもアライグマの仲間(動物科学館に展示されているキンカジュも含む)です。ハナグマは4種いますが、アカハナグマが最もポピュラーで、南アメリカの国々の中でチリだけ分布していません。日中活動し、メスたちとその子どもで10～30頭の集団で動き回っています。オスは単独で生活しています。雑食性で、果実・昆虫・小動物・魚・カニ・ミミズなどを食べます。動物園でのエサはリンゴ・バナナ・煮サツマイモ・煮ニンジン・ゆで卵・ドッグフード(ペレット)・ニワトリの頭です。

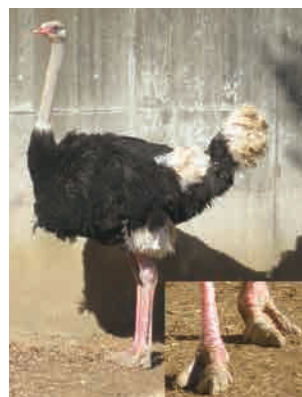
とっても活発に動き回っているアカハナグマをぜひ見に来てください。

宝川 範久

おすすめ 森田民の 千葉ZOO

「大きなダチョウの小さな秘密」

現生最大の鳥類のダチョウ。卵もニワトリの25～30倍で鳥類最大サイズですが、親の体との比率を考えると実は鳥類最小となります。結果としてオスは多くのメスに卵を産ませ、そのうちの1羽とともに数十個の卵をひとつの巣に集めて温めることが出来ます(動物科学館2階ロビーに卵が展示されています)。



次に目玉は直径5cmほどもあり、これは紛れもなく巨大です。自分自身の脳よりも重いというのですから。広々としたサバンナに適応して数km先まで見通せると

も言われます。

最後に足の指(趾)は、がっしりとした二本(中指・薬指)です。鳥類の足指の基本は小指のない四本ですが、ダチョウはさらに早く力強く駆けるための特殊化をしていると考えられます。

当園の丘になったフィールドを闊歩し駆け回るダチョウは、そのままで迫力十分ですが、細かな特徴にも注目してさらにかれらの魅力を御堪能ください。



園内の植物のお知らせ

ウワミズザクラとイヌザクラ

当園では、2月中旬頃のカワヅザクラの開花に始まり、カンザンやフゲンゾウなど4月末まで一つ一つのサクラの木の本数は少ないのですが、18種類ものサクラの花が楽しめます。それ以外に、ソメイヨシノやオオシマザクラの花と異なり、バラ科サクラ属の植物で総状花序をつける「ウワミズザクラ」と「イヌザクラ」も観られます。

「ウワミズザクラ」は、4月中旬頃に開花します。北海道から本州、四国、九州の山野に自生し日本国内では一般的なサクラです。千葉市の郊外の林



ウワミズザクラ

の中にもまだ観ることができます。樹皮は黒くクロザクラとも呼ばれ、昔は幹を占いに使ったようです。実は秋に赤く熟し、地域によっては、アンニンゴと言って塩漬けや果実酒に利用しているところがあるようです。花序の枝に葉が付くのが特徴です。ウワミズザクラは、西口ゲートから階段を登ってくる坂の途中の斜面にあります。その他、大池の入り口や西口ゲートから「ふれあい動物の里」に入った左側のベンチの後ろの斜面でも観られます。



イヌザクラ

「イヌザクラ」も、4月中旬頃に開花します。樹皮が白いのでシロザクラとも呼ばれ、ウワミズザクラと同様総状花序の花をつけます。余り目立たず、花序の枝に葉が付かない点がウワミズザクラとの大きな違いです。

名前の由来は、他のサクラの種類と異なり、サクラの花に見えないことからイヌザクラと名が付いたようです。モンキーゾーンのワオキツネザル放飼場裏のキーパー通路沿いで観ることができます。余りにも大きく成長し、下枝を伐採したこともあり見上げないと花が咲いていることに気付きません。園内で観られるのは、ここだけです。

企画広報班 齋藤 勝彦

ふれあい動物の里より

毎日
開催中



ウェルカム
アニマル

◆9:30~10:00まで
西口入り口付近



乗馬・ポニー乗馬タイム

◆9:30~12:00
◆13:00~16:00
<1回 300円~>



大人気!

エサやり体験



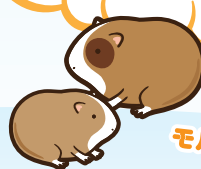
★ウサギ ★アルパカ ★ウマ
★ミニチュアホース ★ヒツジ
などにえさがあげられます。
<100円~>

ふれあいワークショップ

平 日...◆15:00~15:30
土日祝...◆11:00~11:30 ◆15:00~15:30

ふれあい:無料
チェキ写真撮影&ワークショップ参加費:200円~
各回定員:30名
場所:屋根付き休憩所

10分前に抱っこ券配布



モルモットのふれあいと
チェキでの写真撮影&デコレーション!



お散歩 土日祝...◆14:00~14:30

動物のお見送り ◆16:15~ 西口付近